



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	東京学芸大学地理学会主催 ホームカミングデイ自主企画 8階演習室ゼミ (学会記事) (fulltext)
Author(s)	石川,温之; 関,秀明
Citation	学芸地理(71): 103-104
Issue Date	2016-02-18
URL	http://hdl.handle.net/2309/145223
Publisher	東京学芸大学地理学会
Rights	

東京学芸大学地理学会主催 ホームカミングデイ自主企画 8階演習室ゼミ

東京学芸大学の学園祭＝小金井祭に「ホームカミングデイ」が設けられて数年になります。学芸地理学会を通じてイベントがこれまで案内されてきましたが、2014年は学芸地理学会自主企画として、ホームカミングデイのイベントを新たに行いました。

私たち学芸地理卒業生にとって、還るべきホームは、なんといっても「8階」の地理学教室（地理学研究室：卒業年代によって名称は異なりますが、ようするに地理の先生方の研究室があるフロア）です。そして、卒業生にとって最も思い出深い部屋が、卒論のゼミや地理学の専門の講義を学んだ「演習室」だと思います。

このたび、地理学研究室の先生方にご協力いただき、学園祭中日の11月2日ホームカミングデイに懐かしい「8階演習室」を開放いただき、学芸地理学会主催のゼミを行いました。1人15分＋テーマに関する歓談・質疑応答15分で、日頃の関心事や旅の体験談、調査研究をご紹介いただきました。先生方も含めて14名の報告がありました。

*司会：関 秀明（33期）

*開幕のご挨拶：地理学分野主任 椿真智子

- 1) 有賀夏希（大学院M1）：私のふるさと～群馬県東部の洪水常習地帯
- 2) 関 秀明（33期）：江戸時代に九十九里を襲った2つの大津波とその史跡
- 3) 石川温之（53期）：私中高協会地学研修会に参加して～琵琶湖の環境学習
- 4) 野中規夫（45期）：高校地理の現場から～エスチュアリーとは？

<昼休み>

5) 高橋尚志（61期・首都大学大学院M2）：
私の研究テーマ～河成段丘構成層からみた河川運搬プロセスの違い

6) 辻村千尋（40期）：リニア新幹線をめぐる問題

7) 寺岡睦美（58期）：イスラム圏対象の旅行会社に勤めて

8) 樽井里実（学部4年）：スウェーデン留学体験から

9) 坂田宏之（40期）：多摩地域の民俗芸能「説経節」の地理的考察

10) 穂坂直哉（40期）：深大寺用水の成立過程とその終焉について

11) 小泉武栄（名誉教授）：鹿児島県甕島の自然

12) 牛垣雄矢（地理学分野・講師）：今年の臨地研究の様子～群馬県高崎市

13) 青柳章一（37期）：2012～2014 岩手県田老を訪ねて

14) 糟谷武志（学部2年）：ヨーロッパ周遊、ときどき地理

*終了のご挨拶：学芸地理学会会長 小泉武栄、学芸地理学会委員長 石川温之

*参加者 29人（地理学分野卒業生・学生 19名、地理学分野教員6名、その他4名）

ゼミといっても、出入り自由、途中退出自由、飲み物やお菓子を並べて、気軽な雰囲気ですべての発表を楽しみました。

この企画は思わぬ効果を生みました。北海道で教職に就かれている1986年卒業の35期の松林さんは、仕事で東京を訪れ、小金井に足を運んだついでに、懐かしい学芸大に足を向けました。なぜか直通バスがあることをいぶかると、

学園祭の真っ最中。ふらふらとキャンパスに入った松林さんは、今なお学内最高峰のサンシャインにたどり着くと、入口があいていて、そのままエスカレータに。当然8階に降りると、なんとゼミをやっている！こうして参加された松林さんは、所属学年担任の小泉先生と再会し、当時はまだ助教授だった上野先生ともお会いして、懐かしく歓談されていました。

また、参加された方々からは久々にサンシャインの8階に上がって来て懐かしいというお話や来年度も開催するようであれば参加したいといったお話を多数お聞きしました。

今回のゼミには先生方やOB諸氏から多数の差し入れが届きました。とくに静岡から来られた野中さんは、川根茶で「お茶」のおもてなしを担当いただきました。ありがとうございました。主任の椿先生には快く企画を応援いただき会場をご手配いただきました。中村先生には通

常は施錠されている建物入口の開放や機器準備など企画を陰で支えてくださいました。澤田先生には参加者少ない開始早々のタイミングでご参加いただきました。名誉教授・前学会長の上野先生には、質疑応答で盛り上げていただきました。小泉先生と牛垣先生には興味深い話題をご紹介いただきました。今回の企画にご協力を頂いた8階の先生方・院生の皆さん・OB・OGの皆様はこの場をお借りして改めて御礼を申し上げます。

2015年度についてもホームカミングデイ企画を開催するために準備を進めております。このような交流イベントの企画を引き続き積極的に行うことが出来ればと考えております。もしお時間がございましたら参加していただければと思います。

(53期 石川温之, 33期 関 秀明)